

## 町にどのような高校が望ましいか検討 町立高校対策専門員に村田尋如さんを任用

平成28年2月に行われた町立高校設置検討についての町民意見交換会での「詳細を示して意見交換すべき」という意見を受け、町にどのような高校が望ましいか検討していくため、7月1日に町立高校対策専門員として、村田尋如さんを任用しました。

村田さんは、これまで北海道有朋高等学校校長や教育指導監など、北海道教育委員会の数々の要職を歴任してきました。

今後、専門員のみならず、役場での連携も強化し、町立高校設置に関する地域への効果や負担などを調査していきます。また、将来の町における高校教育を町民の方々と描くため、教育内容に関するアンケートなどを実施し、意見をいただきながら町立高校設置について検討していきます。

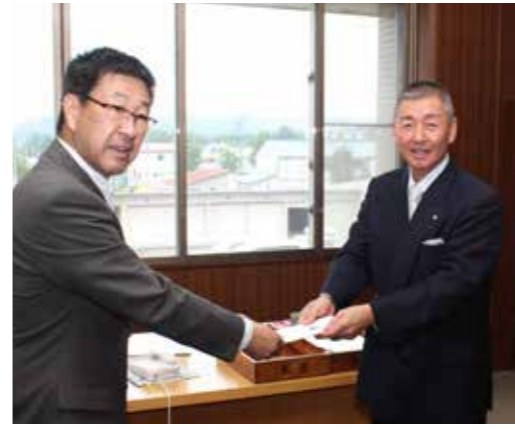
学校像や効果、負担などがある程度まとまった時点で、再度、町民の方々と意見交換会を開催し、意見を聞く予定になっています。

## そば祭りなどイベントの際に活用を ユイマール事業協同組合が イベント用備品を寄贈

ユイマール事業協同組合（根本健代表理事）が7月26日、町長室を訪れ、浜田正利町長にイベント用のテーブル・イス・パラソルのセット10組の目録を手渡ししました。

同組合は、町内の土産業者など8社で構成する組合で、町のゴミの収集や町道の草刈などを請け負っています。

根本代表理事は、「今年で組合設立10年目になる。こういった取り組みは、毎年できることではないが、町への恩返しとしてそば祭りなどのイベントの際に使って欲しい」と話していました。



## 214人の冥福祈る

### 新得町戦没者追悼式

町戦没者追悼式が7月11日、町公民館で行われ、町出身戦没者の遺族や関係者ら約80人が参加し、214人の冥福を祈りました。

黙とうに続き、浜田正利町長が「これまで先人が築きあげてきた富を後代へ継承し、命の尊さを語り継いでいく。戦争という過ちを二度と引き起こさないよう努力をしていかなければならない」と式辞を述べ、町遺族会の北敏夫会長が「後代へ伝統、文化を継承していく。町の一人ひとりの幸福を目指し、努力し、二度と戦争のような悲惨な事例を引き起こさないよう尽力したい」とあいさつしました。



## 飲酒運転根絶へ

### 新得町交通安全推進協議会 が旗波作戦を実施

昨年12月に道で飲酒運転根絶条例が制定され、「飲酒運転根絶の日」となった7月13日、町交通安全推進協議会主催の旗波作戦が行われました。

この取り組みには新得町高齢者交通安全クラブ、新得交通安全協会、新得町交通安全指導委員会、新得町女性ドライバークラブから約80人が参加し、公民館横の国道38号線に「やめよう飲酒運転」などと書かれた旗を持って立ち、飲酒運転根絶を訴えました。

また、同日に町女性ドライバークラブが狩勝峠下の駐車場と同様の取り組みを行いました。



## 多くの人に知ってもらいたい デフサッカー講演会

デフサッカー講演会が7月31日、町公民館で開かれ、約20人が参加。講師として、元プロサッカー選手・現デフサッカー日本代表スタッフの深川友貴さんを迎え、「デフサッカーが普及・発展してくには」というテーマで講演をいただきました。

デフサッカーは、聴覚障がい者が行うサッカーのことで、プレー中は手話やアイコンタクトで意思疎通を図っています。

講演会では、深川さんがデフサッカーと出会ったきっかけやワールドカップの様子、練習などに触れ、「少しでもデフサッカーを知ってもらい、広めてもらいたい」と話していました。



講演を行った深川さん

## 特別支援教育の充実 を図るため 新得高等支援学校協力を 設立

新得高等支援学校協会の設立総会が6月2日、同校で行われ、会長に赤木英俊さんが選出されました。

本協会は、在籍する生徒の職業自立や社会自立・参加に向けて、町、学校、事業所、企業、関係機関が連携し、教育活動や地域の特別支援教育の充実を図ることを目的として設立され、福祉・経済関係者など総勢25人でスタートしました。

主な事業として、町内の小学校新1年生に校内作業学習で作成した入学記念品をプレゼントする「さくらプロジェクト」や実際の職場での仕事を通して、仕事に対する心構えや態度、仕事の大切さを学ぶ「現場実習」などへの支援を行うことになっています。



選出された赤木会長

## 広報モニターからの声

広報モニターさんから「広報しんとく7月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼特集記事で、資源・リサイクルについて多くの場合、ゴミの分別やリサイクルは環境保全の観点から話される場合が多く、リサイクルゴミを町外に出すことで町の負担を減らすという発想には至りません。新得町規模での視点を持つことができ、改めて分別やリサイクルについて考えていけると思います。しかしながら、リサイクルや分別はゴミ問題の根本的解決にはならず、レジ袋の有料化は浸透してきたとは言え、商品そのものの過剰包装や業者の不要なサービス、それを求める消費者が根底にあり、変革を求められる事案だと思えます。

▼収納率が99%以上とかなり高い数字と感じられました。もちろん100%であることが理想ではありませんが、その反面、滞納繰越分の収納率が著しく低いことが気になる。数字上では町の一部の人が払っていない、不払いが続いていると見えました。原因究明はすることながら、仮に社会的問題が

はらんでいた場合（高齢化や貧困化）、町全体で考えていかなければならない問題であると感じました。

▼ボイスの町の声のページに空白が多く、ほかのページがぎっしりと詰まっているため少し物足りない感じがしました。

▼ゴミや税、支援高校の開校や選挙、生活に密着した内容で非常に読み応えがありました。まだ夏の陽気もそこそこで、秋に行われるそば博覧会も遠くのことと感っていました。開催まで2ヶ月とカウントダウンが始まっているのだなと感じます。

▼温水プール「ビーバー」の50万人達成の現場にたまたま居合わせました。生徒に合わせたきめ細かい指導が行き届き設備も充実したプールです。町民大学は中学生以下は受講料が免除されるため、登録料500円だけで開講中継続することができ。素晴らしい制度ではあります。都心部では月額1万円近く払い、施設ももっと古く、生徒数の多いところで練習をします。同じようにしると思いませんが長く利用したいからこそ、もう少し徴収してもいいのではないかと思います。